

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報

2023-2024 年度テーマ

第 64 代会長 杉本 剛昭

第 64 代幹事 安武 勝

Painted by Kenzo Tanaka

世界に希望を生み出そう

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2024 年 3 月 2 日(土) 第3051回例会 2780 地区第 4 グループ IM @寒川神社参集殿 No. 31

＝本日の例会行事＝

◇合同例会ののち IM テーマ「第 4 グループに於ける青少年交換について」

開会の言葉: 伊澤敏典ガバナー補佐 IM 実行委員長挨拶: 城田英昭実行委員長

基調講演: ROTEX 会長 市川 智尋 前 ROTEX 会長 藤原 あゆ ◇交換留学生日本語スピーチコンテスト

今年度、国際ロータリー会長のテーマは、「世界に希望を生み出そう」です。これは世界と自分自身の中に平和を築くためのもので、この目標は全てのロータリー活動に、希望を取り戻す、希望を生み出すことにあり、希望こそが、ロータリーが世界に、地域社会に、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化をもたらす方法であり、「平和とは希望が根づくための土壌である」と述べています。

そして、世界に組織を持つロータリーが、「希望」への根幹を担う青少年の育成プログラムとして、海外の人々と交流し、異文化を体験し、直接学ぶ機会を青少年に提供し、青少年の国際理解と親善の精神を育み、海外交流の機会、及び平和と社会正義を推進するリーグ」として成長する機会を提供するのが青少年交換プログラムです。

ロータリーの実施する様々な奉仕活動の中で、もっとも綱領の第 4 「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的なネットワークを通じて、国際理解、親睦、平和を推進すること」を具体的に実施するプログラムだと思います。

私は「継続と変化」をテーマにしました。良い

奉仕活動、プログラムは継続し前進すると同時に、現在の状況を理解、認識し、より革新的かつ柔軟な活動を、持続可能な変化を、新しい組織の在り方を、未来のクラブに向け、これからのロータリーに向けて、会員全員で作りに出していく時だと思っています。

今年度の IM では、第 1 部として、4 年ぶりの青少年交換プログラムを改めて理解するために、現状のプログラムについての説明と、青少年交換学友(=ROTEX ローテックス)からは海外で得た見聞や、派遣してもらった自分にしか分からないことなどを聞き、今後の第 4 グループとしての活動の一助として行ければと思います。

第 2 部として、今年度の交換留学生、9 名による日本語スピーチコンテストを開催し、青少年の国際理解と親善の精神を育てて頂きたいと思っています。

そして、懇親会では、クラブを超えた親交を深めて頂きたいと思っています。



第 4 グループ 伊澤敏典ガバナー補佐



第1グループ
台湾
Chia-Yuan
WEN
横須賀RC



第2グループ
イタリア
Giorgia PINNA
鎌倉大船RC



第3グループ
フランス
Gabriel MERLET
藤沢東RC



第4グループ
デンマーク
Anne-Sophie
ChangSejerSØRENSEN
綾瀬春日RC



第5グループ
ドイツ
Alexander
CLARK
相模原RC



第6グループ
カナダ
Caleb Blue
MENARD
大和田園RC



第7グループ
ブラジル
Suri Appelt
MARTINS
伊勢原平成RC



第8グループ
スウェーデン
Dawid
Rynkiewics
大磯RC



第9グループ
メキシコ
Patricio
RODRÍGUEZMuñoz
小田原城北RC



交換学生を紹介する地区青少年交換委員会 新井智代委員長(藤沢南)

今年度のIMは「第4グループに於ける青少年交換について」をテーマに、交換留学経験者であるROTEXの会長・前会長による基調講演、9グループの交換学生による日本語スピーチコンテストも行われました。コロナ禍で3年間実施されなかった交換学生プログラムが今年度より再開。そして次年度は当クラブで交換学生を受け入れる予定となっており、関心度も高かったように思えます。交換学生たちは一度母国を離れると丸一年は帰国できないという境遇で高校生活を送ることになります。受け入れクラブではそうした孤独を少しでも癒したり、日本文化のよさを伝え、彼らの日本での暮らしをよりよきものとする務めがあります。杉田会長年度での交換学生受け入れを実現するものとしたいですね。